

週報



国際ロータリー
第2560地区

2006年10月30日 第1806回 本年度第14回

SanjoMinamiRotaryClub

- 【出席率】 会員62名中41名
- 【先々週の出席率】 96.67%
- 【ゲスト】 米山奨学生 アディアモノン・クアメ・フロレンさん
- 【ビジター】 一年交換学生 レナ・フェルドタンクさん

2006~07年度
クラブ会報特別企画



あの人 あの時
渡邊 久晃 君

会長挨拶

馬場 一敏 会長



挨拶を致します。
近頃はめっきり秋らしくなりましたが、
天候不順でなかなかすっきりした快晴に
恵まれません。

秋は紅葉で、旅行及び山歩きなどが盛んに行われ、会員の皆様も
きのご採りなど山に行くことが多いと思います。しかし、全国的
に里山に熊が出没しており、三条市でも下田地区は例年のごとく、
大崎地区でも中小企業大学校、大崎山にも現れ、注意を呼びかけ
ています。山に熊や猿の食べ物がなく里まで来ております。里山、
民家の軒下の柿が目当てとのこと。里山近くの民家の庭には
たくさんの柿ノ木があり、熊の来ない方法はないものかと苦慮し

ております。射殺された熊は、市議員に聞きましたところ、希望者（関係者）が解体して肉として分け、食
べるとのことでした。今頃の熊は冬眠前で美味いそうです。

さて、本日は「米山月間」で米山奨学生のアディアモノン・クアメ・フロレンさんの卓話です。宜しくお願
い致します。

渡辺ガバナーエレクト事務所から、次年度の地区の財団及び米山奨学の委員各2名の推挙の依頼がありまし
たので本日の理事会において諮り、

地区財団委員：馬場一敏、田代徳太郎 地区米山奨学委員：佐藤秀夫、星野健司
の4名が推薦され、決定しましたのでご報告致します。

国際ロータリークラブ会長 ウィリアム ビル ボイド [ニュージーランド]
第2560地区ガバナー 中 條 耕 二 [三条北]
第4分区アシスタントガバナー 桑 原 寛 治 [加 茂]
会 長 馬 場 一 敏 幹 事 田 代 徳 太 郎 SAA 広 岡 豊 樹
三条南ロータリー事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp URL <http://www.sanjo-minami.jp>



～10月30日 ¥18,000 今年度累計 ¥323,000～

- 長岡東RC 伊丹君 穏やかな小春日和に感謝して。
- 馬場(一)君 ①「米山月間」です。フロレンさんようこそ。卓話宜しく願います。
②レナさんいらっしゃい!
- 田代君 米山奨学生、フロレンさん ようこそいらっしゃいました。本日の卓話宜しく願います。
- 丸山(徹)君 米山奨学生のアディアモノン・クアメ・フロレン君に卓話をお願いしました。
- 安達君 米山奨学生 フロレンさん、Lenaさんようこそ!
- 岡村君 フロレンさん、卓話ご苦労様です。ボックスに協力致します。
- 馬場(信)君 長岡東の伊丹敏彦さんがmake upにおいて下さいました。青年会議所時代からの友人です。今後とも宜しくご指導をお願いします。
- 菑澤君 2007～08年度(渡辺ガバナー年度)地区役員、ロータリー財団委員:馬場会長、田代幹事、米山奨学委員:佐藤秀夫さん、星野さんご苦労様ですが宜しく願ひ致します。
- 相田君 昨日、村松で謡曲の会があり、三条颯々会のメンバー12名で参加しました。88歳の周佐先生の祝いの秋季の会で総勢70名程で盛大でした。
- 吉田(秀)君 先週は例会を欠席して家内と紅葉狩りに行って来ました。車の渋滞がひどかった。
- 西巻君 去る21日、結婚祝いをクラブから頂きお礼申し上げます。BOXに協力して。
- 住谷君 久しぶりに例会に出席した気分です。
- 田中(久)君 久しぶりの例会です。BOXに協力致します。
- 佐藤(栄)君 お休みが続きました。久しぶりの例会出席に!
- 大溪君、大原君、田中(悌)君 BOXに協力致します。
- 西野君 BOXにご協力有難うございました。

米山月間

「私の日本に対する印象と将来の夢」

米山奨学生(長岡技術科学大学修士課程)
アディアモノン・クアメ・フロレンさん

はじめまして。私は、アディアモノン・クアメ・フロレンと申します。コートジボアールから参りました。現在長岡技術科学大学で電気電子情報工学を専攻し、情報ネットワーク特性評価を勉強しております。今日は、皆さんに会えてとてもうれしいです。私は、今まで三条ロータリークラブの皆さんとは何度かお会いしましたが、三条南ロータリークラブの皆さんは初めてなので緊張しています。日本語があまり上手ではないので、間違いはお許し下さい。

今日は、この機会を借りて先ず、私の日本に対する印象、そして卒業後の計画について話をします。

私は、2001年4月にコートジボアールから来日した後、あっという間に6年近くも経ちました。日本に来たばかりの頃、日本語が全く解らなかったため、日本での生活はあまり面白くなかったです。いつも先輩達に頼りながら生活していました。そのため、私は早く日本語を覚え、日本人とコミュニケーションをとることが最も大切だと思いました。一年間、新宿にある文化外国語専門学校で毎日5時間日本語を勉強していました。私の国で使われている文字(ローマ字)と違う文字に出会い、驚きました。一生懸命、漢字や文法に時間を費やし、読解力を身に付けました。例えば、放課後学んだ文法や表現を身につける為に、日本人または学生会館の先生と練習していました。3ヶ月後日本語が話せるようになり、色々な友達ができて日本での生活が楽しくなってきました。



コートジボアールでは、学校で先進国の地理、歴史を勉強しなければならぬので、来日前に日本史と日本文化等について少し学びました。また、子供の頃には、日本に関するアニメを見ていました。日本はアジアの中で、日の出る国で、地震が多い国でもあります。そのため、日本の皆さんは竹や木、硬い紙で作った家に住んでいます。また、日本人はお箸を使って食事をし、とても礼儀正しく親切で、勤勉で正直です。女性はかわいらしく長い髪をしていて、いつも髪型などに気を配っています。等のことを知りました。

実際、日本に来て初めに驚かされたのは自然の美しさでした。日本は経済大国とも言われて、産業が非常に発達しているにもかかわらず、どこでも緑が見られます。また、東京の町は魅力的で、とてもきれいです。

ですから、すぐに私は海や山など日本の自然のことを手紙で家族や友人に伝えました。明治維新や高度経済成長、言い訳せず自己責任でチームと個人で頑張る侍精神を知り、興味が深まりました。大学で学んだ5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）や、在庫を最小限に減らす日本の経営方式にも興味を抱きました。近代化と豊かな文化、豊かな自然とバランスのとれた開発方法に共感しました。

また、日本の文化は、その伝統文化と中国や西洋の文化が混じり合った独特の文化です。花道、茶道、演劇、造園などのように高度に形式化され洗練された文化や芸術は、質素、優雅、気品にあふれています。日本の社会福祉システムは公的あるいは私的な健康・福祉制度から成り立っており、ほぼ全ての人口をカバーしています。そのシステムは失業者、労働障害、身体障害、育児、高齢者のための補助金を供給しています。伝染病の少なさや幼児の死亡率の低さといった、その健康状態からも日本が先進国であることが示されています。日本では16世紀以来、皆さんが読み書きが出来、現在殆ど全ての人は教育を受けます。小学校6年間と中学校3年間は義務教育であり、中学校を卒業したほとんどの人が高等学校に進学します。高等学校を卒業すると2～3年間の短期大学や4年間の大学、あるいは5年間の専門学校に行く学生もいます。大人は読み書きの能力はほとんど同じです。日本の人々は年配の人でもたいてい散歩やスポーツが好きです。日本にはたくさんの公園やスポーツセンターがあります。また、スポーツのための学校や大学もあります。相撲、剣道、柔道は伝統的なスポーツですが、サッカーや野球もとても人気があります。日本では正月と特別な日に魅力的な祭りがあります。その祭りにはいろいろな年齢の人が参加し、楽しめます。人々は伝統的な歌や踊りをします。色とりどりの料理を作り、いろいろな飲物を買って揃えます。正月には家族や友人の間で贈り物を交換します。日本人はとても勤勉で、正直で、協力的で、親切です。自分の負うべき責任をきちんととります。ほとんど全てのオフィスにはコンピューターが導入されており、お互いに情報を交流することができます。全ての仕事は効率的で、期間通りに完成できます。みんな時間を無駄にしない。旅行に行った時でさえ本を読みます。学生は勉強しながらアルバイトをし、仕事の経験をしています。

中でも特に交通機関は近代的で、迅速で、高級感あふれるものであり、高い技術が導入されています。そのネットワークは世界中でも素晴らしいものです。交通機関は人々の間にとっても普及しています。道路もまた科学的であり、技術的にも発達しています。幹線道路は完全に区別されており、一般の道路はあまり混雑していません。

スーパーマーケットやデパートはとても魅力的です。そこに行くだけであらゆるものが手に入ります。日本の食べ物はとても美味しく健康にも良いです。私は初め、日本の食べ物はほとんど食べることが出来ませんでした。でも最近ではそのほとんどに慣れました。

これらがさまざまな印象ですが、私の一番の印象といえば、それは日本社会の平等です。例えば、日本では、若い人も、トップの雇い主も、教官と学生もそれぞれの仕事が終わった後は一緒に楽しめます。列車でさえ、車内のシートに区別がありません。まとめると、日本は、技術だけでなく、侍精神を重んじる行動様式や伝統文化と先端技術との調和のとれた生活様式の国であります。戦後の日本の経済発展をテーマにした書き物は少なくありませんが、そのほとんどは発展の理由として、日本政府の経済政策を取り上げています。私は、その発展はただ政府の政策だけではできないと思っています。日本文化や国民性に関係があると思いました。

これらは私の母国であるコートジボアールでは考えられないことです。しかし、日本において全てが良いわけではありません。ここで私は面白い話を一つしたいと思います。事実、日本ではほとんどの人が英語を非常に怖がっています。これは私の経験なのですが、日本に来たばかりの頃、私が、“Excuse me”と道で男の人に尋ねると、その男性は私の言うことが聞こえないふりをして避けたのです。しかし、この状況は、女の人では全く逆でした。私の言ったことが理解できない場合でさえ、彼女らはいつも助けてくれようとしています。

コートジボアールの国土の80%は平坦であり、とても農業に適し肥沃です。しかし、経済体制改革の立ち遅れや政治不安といった多くの問題を抱えているため、わが国は日本のそれぞれと比べて非常に遅れています。

先ず、農村住民は知識がなく、経済的にも貧しいため、科学的な機会を使うことが出来ません。その上、自動車公害、産業活動や都市からの固体や液体状の廃棄物による大気や水の汚染、土壌浸食、毒性のある重金属などの殺虫剤の残留も主な問題になっています。

独立後、我々が大切にしていた平和が失われました。西アフリカでは民主主義の一つの見本であるコートジボアールに何が起きたのでしょうか。2002年、コートジボアールの北部に作られた反乱軍が2000年の選挙で選ばれた政府と戦っています。平和でない、または、戦争でない状態が続く中、国民の不安は高まっています。母国の政治家は、あまり国民のことを考えず、自分の利益ばかり考えます。こんな不安定な状態では発展出来ないと思い、更に国民は政府にも、国際社会にも信用することは出来ません。一日も早く国が前のように平和になることを願わずにはられません。

また、教育制度も日本とは全く違います。その政治的状況が悪いため、本来大学は4年間で卒業するところ、6年もかかります。大学ではストライキが多く、大学生団体と政府との間に生じる問題が多数で、一年のプログラムが簡単に1年半かかります。すると学生は勉学に熱心さを失くし、大学に行くのが嫌になる一方です。私達の持っている知識は基礎理論的なものであり、あまり実用的な知識を持ってません。なぜなら私達の研究室には実験用設備が無かったからです。つまり私達の知識は完全なものではありません。そこで、もし私が科学的で最新の設備の整った環境の下で適切な教育を受けられたなら、私は人々の役に立つことが出来るのではないかと考えました。先ず、その一歩として私は、先進国で高度な教育を受けるチャンスを探し、日本を選びました。なぜ日本を選んだのか、それは日本の技術力は世界でも有名で、どの大学も研究設備が整い、近代的な教育システムが導入されているからです。

私は祖国に帰って、国のネットワーク通信に力を入れ、最善を尽くしたいと考えています。そしてもう一つ、祖国の通信とITのために自分の知識をまとめ直し、その現状を改善したいと考えています。私はいくつかの援助機関、例えば、UNDP（国連開発計画）、UNICEF（国際連合教育科学機関）やJICA（国際協力機構）といった機関と連携し、このプロジェクトの基礎となるいろいろな機器を集めるためにその責任者を説得するつもりです。そのため、私は日本にいる間に、日本の文化や社会に馴染み取り込もうと思っています。私はここまで勉強できて本当に幸せです。先ず、私の指導教官である中川健治先生に深く感謝しています。先生は他の学生と分け隔てなく私と接し、とても親切に協力して下さいます。懇切丁寧な指導や様々な研究をするにあたっては貴重な助言やヒントを与えて下さり、私を奨学生にも選んで下さいました。そして、このような特別な機会を与えてくださったロータリークラブの全ての方々にとっても感謝しています。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか